



日宇中PRIDE

～どんな時でも どんな場所でも 誰が相手でも やるべきことをやり あるべき姿を考え きちんとした言動をする～

制作 美術部

佐世保市立日宇中学校



所在地 佐世保市日宇町2181番地
校長名 千代島 泉
生徒数 1学年193名、2学年194名、3学年179名
全 校 566名（18学級 うち特別支援3学級）
校 訓 「自主・努力・敬愛・健康」

1 日宇中学校の「特色ある学校づくり」について

本校の学校教育目標で「特色ある学校づくり対策事業」のテーマでもある「豊かな心を持ち、進んで学び、健やかでたくましく行動する生徒の育成」の実現に向け、次の視点で特色ある学校づくりを進めています。

- (1) 結果を出す（結果にこだわった努力をする）学校
- (2) 子どもたちの笑顔がいっそう輝く学校
- (3) 地域とともにある学校



2 実践内容・成果

(1) 結果を出す(結果にこだわった努力をする)学校

①基礎学力向上への取組

「生徒一人一人が安心して学べる授業づくり」のために、授業改善を目指し、コミュニケーションや協働・協同的な学習・学び合いについての研修を深めています。「基礎学力向上への取組」として、授業の中でコミュニケーションや協働・協同的な学習・学び合いができるように、「ペア学習」や「グループ学習」を取り入れた授業づくりを研究しています。



②体力向上への取組

体力テストのデータを業者に委託し、細かい分析を行うことで、個々の生徒の特性や学年の特性等を知り、体力向上及び課題改善に向けた取組を継続的に実践しています。

分析した結果を全体で共有し、保健体育科の授業だけでなく、運動部活動においても活用を図り、組織として体力向上に向けた課題改善に取り組んでいます。

課題であった「柔軟性」については、継続した取組により中学2年生の男女とも全国平均を上回りました。

市中体（優勝8種目、準優勝2種目、県大会出場87名）や市新人大会における生徒の活躍にもつながっていると感じています。



(2)子どもたちの笑顔がいっそう輝く学校

① 外部講師等による講演会・演奏会の実施

今年度、外部講師等をお招きしての講演会・演奏会の機会を多くもちました。「命」、「生き方」、「心に響く音楽」など、「本物に触れる」機会、実感を伴って理解する貴重な学習の場の充実を図りました。

・6/17(月)「学力アップ・体力アップにつながる栄養講話」 栄養教諭 真崎 洋子先生、折小野 由香里先生

1年生を対象に、学力や体力の向上には栄養バランスのとれた朝食や食事が大切であること、食生活を振り返り、続けたいことや改善したいことについて考えました。



・6/18(火)「かけがえのないもの いのちについて考えよう」 長崎県スクールカウンセラー 長崎短期大学学長補佐 中野 明人教授

「当たり前毎日はずっと続きそうで、日々減っている。それに気づくことができたなら『ありがとう』が言えるのではないか。」と3年生にメッセージをいただきました。



・6/21(金)「もやもやをスッキリと」 ながさきファミリープログラム ファシリテーター 中倉 まち子先生、内田 奈美先生、 川口 昌子先生、古賀 由樹先生

4名のファシリテーターの軽快な進行で、2年生が元気に楽しい時間を過ごすことができました。思春期の悩みを語り合い、相手の立場になって考えたりできました。



・6/22(土) 日宇中フェスタ ピアノ/演奏 千代島 史花先生

地域のピアノの先生と本校吹奏楽部員・顧問による「ピアノ・歌・トランペット&吹奏楽部演奏会」を行いました。日頃から練習している曲だけでなく「ふるさと」や「パプリカ」の合唱や演奏に、来校者からたくさんの拍手をいただきました。心温まる「素敵な音色」に本校体育館が音楽ホールのようにになりました。

・10/31(木) スクールコンサート
長崎 OMURA 室内合奏団

長崎 OMURA 室内合奏団においでいただきました。わかりやすく解説をいただきながら、素敵な音楽で心豊かになるひとときでした。各学年3名ずつ、バイオリンとチェロの直接指導をうけ、演奏しました。とても貴重な経験でした。アンコールでは、子どもたちの列の中に入り、演奏していただきました。

全校生徒がとても感動していました。



・11/25(月) 薬物乱用防止教室
佐世保税関支署 有江 正義先生

佐世保税関支署から講師をお招きして、3年生で薬物乱用防止教室を行いました。薬物の危険性が身近にあることを知り、薬物に対する危機意識を持つことができました。

まとめに、養護教諭が「薬物中毒者の手記」を紹介しました。心身ともに健康的であることの大切さが実感できたようでした。



・12/12(木) 性教育講演会 長崎県看護協会
山口 沙織助産師、坂口 千鶴子助産師

思春期にある自分自身と向き合い、心と体の変化を正しく理解するために、助産師の先生2名にお越しいただきました。妊婦体験や男女別に質疑応答の時間もとっていただきました。講師の先生からは「今のみなさんにとても大切なこと」として「1食事、2運動、3睡眠、4学習、5遊ぶこと、6正しい知識の6つです。みんなから応援される幸せな人生にしてほしい。」という話がありました。自己理解・他者理解を深める2年生にとって貴重な学びとなりました。



・2/19(水) 「SNSが絡んだ非行事案 特殊詐欺の現状」
佐世保学園法務教官 多田 隼先生

安全・安心な社会を実現するため、少年の犯罪予防教育を目的として講話を実施しました。SNSが絡んだ非行事案や特殊詐欺の実行役に少年が多い現状に鑑み、特殊詐欺が社会に与える影響や危険性などの説明を受けました。

②「日宇中プライド」の横断幕作成

「日宇中学校生徒としての誇り」として取り組んでいる「日宇中プライド～どんな時でも どんな場所でも 誰が相手でも やるべきことをやり あるべき姿を考え きちんとした言動をする」の横断幕が完成しました。制作は美術部です。現在、皆が目にするグラウンドと体育館に掲示しています。背景には、生徒の活動のようすの写真が配置されており、迫力のある横断幕になっています。意気に感じ、意識を高く、日宇中学生徒としての誇りをもって行動できる人になってほしいと願っています。



(3)地域とともにある学校

① 日宇中フェスタ

6月22日(土)「いのちを見つめる教育週間」期間中に、文化活動部生徒による講座や演奏会等を行いました。茶道部による「お茶会」や美術部による「消しゴムはんこ」、少年科学館の協力による「プラネタリウム上映」、日宇中の先生方による「おもしろ実験教室」、「ピアノ・歌・トランペット&吹奏楽部演奏会」等、小学生や地域の方々にも喜んでもらえるような取組を企画・運営することができました。地域・保護者へチラシを配布するなど、広報活動にも力を入れました。本校生徒の参加はもちろん、外部から200名以上の来校者があり、大変好評でした。本校生徒の生き生きとした笑顔や活動ぶりを地域に発信することができました。



② 職場体験学習

9月17日(火)から19日(木)の3日間、実施しました。2年生191名が日宇地区の53事業所にお世話になり、体験学習を行わせていただきました。学校だけでは学ぶことができない働く喜びや地域からの期待を肌で感じる機会となりました。



③ 日宇川清掃

10月4日(金)実施の「日宇川清掃」では、「日宇川水すましの会」10名の方々のご協力を得て、学習会と日宇川の清掃活動を行いました。地域の方の「故郷を大切にする想い」を知り、また、日宇川についての学習や清掃活動を通して、地域の一員として、地域の環境保全に積極的に関わっていこうとする態度を育むことができました。



本校の教育活動に対するPTAや地域からの理解・支援体制は大きく、日宇地区には、地域ぐるみで子どもたちを育てていこうとする風土があります。今後も、保護者や地域とのつながりを大切にし、特色や魅力のある学校づくりを推進していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。